



# 遠大勵志

## 「山口和士」先生

### 進路講演会開催

全国各地で講演活動を行い、多くの生徒や先生方に力を与えておられる山口和士先生（日本進路指導推進協議会会長、関東学院大学特任教授）を、連休明けの5月7日（月）にお迎えしました。3、4時間目は黒陵会館にて3年生に、6、7時間目は第1体育館にて1、2年生にご講演を頂き、生徒たちはとても刺激を受けた様子でした。



山口先生は、小学2年から高校2年1学期までの約9年間、緘黙に苦しみ、人間や言葉への不信感を抱きながらも、この状況を脱したいと思っていました。日本で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士が、若い頃に劣等生であったことを偶然知り、自分と重なる部分を感じた山口先生は勇気を奮い行動を起こしました。湯川博士に手紙を書き、会いに行ったのです。その出会いによって言葉を取り戻した山口先生は小学校の教科書から学び直し、大学合格を勝ち得たのです。そして、信念をもって教職に就かれました。30数年にわたる教員生活では、常に目の前の生徒にひたすら向き合っただけで、その経験をもとに学ぶことの意味、受験に向き合うにはどうすべきか、どう生活すべきかについて、生徒の不安や悩みを寄り添い、熱い想いをもって黒陵生に語って頂きました。講演会後には、16名の生徒が先生からのアドバイスを求めて校長室をノックし、山口先生は一人一人の質問や相談に真摯に向き合い答えてくださいました。生徒達は感激し納得して、これからの決意をもって校長室を後にしました。本当にお忙し

い中、ご講演頂きました山口先生には心より感謝申し上げます。有り難うございました。



今から11年程前に、私は山口先生が書かれたある文章を偶然目にしました。それは、日本を変えるには教育が重要だとの思いを抱き、20代で学校を作ろうとされたものでした。なんと凄い先生がいらっしゃるものだと感銘を受けた私はすぐに、知り合いの山形県の先生にこの話をしました。すると、山形県の高校に山口先生が来月講演に来る予定だということではありませんか。早速その高校に連絡を取り、講演会に参加する許可を得て、講演を初めて聴きました。そして、講演会後にお話したことが、私と山口先生の出会いとなりました。その後も年に数回お目にかかり、たくさんの刺激を頂いています。

#### 「人は人によってしか変わらない」

誰かが「志」をもって多くの人に語り、人と関わり行動することで、わずか数人かもしれないが変わる人が出てきます。さらにその人達が行動すれば、それを見て変わる人がまた現れます。その連鎖によって、少しずつでもよい方向に変化するように思います。部活動、学習、クラス、学年、黒陵、地域、北上、岩手、日本、世界……と、一人ひとりが「高い志」を見つけ、それに向けて行動することで、見える世界はどんどん変化していきます。

「人は人によってしか変わらない」。

大事にしたい言葉です。